

IFNフリー（ハーボニー・マヴィレット・エプクルーサ）治療及び診断書記載医師に係る研修会 について

資料3

○日本消化器病学会消化器専門医が医療費助成の対象となるインターフェロンフリー治療薬の診断書記載医師として認定を受けるために開催している研修会。

INFフリー治療

○現状

平成30年度以来5年ぶりの開催。令和5年度は、日本消化器病学会消化器病専門医の内、「県の研修会を過去一度も受けたことがない医師」を対象に3剤をまとめて研修会を実施。

研修会実績		
対象薬剤	開催月	参加人数
ソホスビル及びリバビリン併用療法	平成27年7月	50人
ハーボニー配合錠	平成27年9月	48人
エレルサ錠及びグラジナ錠	平成28年10月	53人
ジメンシー配合錠	平成29年2月	53人
マヴィレット配合錠	平成29年11月	45人
エプクルーサ配合錠	平成31年3月	32人
マヴィレット・ハーボニー・エプクルーサ	令和5年8月	5人

受給者証交付実績（名）							
対象薬剤	年度						計
		H30	H31	R2	R3	R4	
エレルサ錠及びグラジナ錠		10	3	0	0	0	13
ソホスビル及びリバビリン併用療法		9	1	0	0	0	10
ハーボニー配合錠		51	29	26	24	6	136
マヴィレット配合錠		140	93	59	47	45	384
エプクルーサ配合錠		0	4	5	2	1	12
計		210	130	90	73	52	555

高知県での対応について

◎インターフェロンフリー治療の研修会の開催方法について

- ・対象者は日本消化器病学会消化器病専門医（県の研修受講歴は問わない。改めて勉強したい医師も参加可能。）
- ・令和6年度は対象薬剤（3剤）をまとめて研修会を行う
- ・回数は1回